

がんばらば

夏休み特集
三小育友会広報
51年7月20日

夏休みの無事故は、みんなの力で

二十一日より長期にわたる夏休みがやってまいりますが、子どもたちの生活は、学校より家庭へと移りますが、この期間、特に子どもたちの非行や事故がおこりがちです。

育友会員一人一人が、次のようなことを注意し、あい、子どもたちに、非行や事故のない明るく楽しい夏休みになるように努力しましょう。

△家庭不和や親子の断絶が不良化の原因になっていることが多いので、家庭の話しあいをすすめる。

△火災の防止対策として、女性は服装に注意するとともに、一人でできるだけ歩かないようにする。

△子どもたちの毎日の行動を注意して見てください。(夜遊び、万引き、買い食い等)

△自転車の盗難が多いので必ずカギをかけるようにする。

自転車事故が多い

夏休みによる開放感と暑さ

交通部

夏休みになりますと、近所の友達との遊びや、遠方に出歩きのことも多くなり、各家庭で、毎日の交通安全に気を配っていただきたい。それに危険な状態を目撃した場合は直ちに注意してください。

三小地区には自転車による事故が多いので、親子どももしっかりと頭の本札を頭に入れ、習慣化するまで、お互い親たちが注意しあって、指導していきたいものです。

1. 又陥車にのらない。
2. 絶対に国道でのらない。(全学年)
3. 自分の体にあった車にのる。
4. 低学年は親の目のとどくところで、親にだまっのらない。
6. ハンドルに、つりざお、ソフト
7. 二人のりをしない。
8. 無灯火でのらない。
9. 用のない時はのらない。
10. 片手運転をしない。
11. 交通信号等きまりを守る。



三小夏の球宴

二つの球技大会

夏休み行事のハイライト「子どもクラブ球技大会」
「音反会町内対抗バレーボール大会」が今年も開催さ
れます。

◎ 子どもクラブ球技大会

七月二十五日（雨天の場合七月二十六日）
八時三十分より三十分運動場で開きます。

男子がソフトボール・女子はフットベ
ースボール

子どもたちの予想では「今年はどこが
勝つかわからない」とのこと。優勝候補
がわからない今年の大会、男女とも白熱
の激戦が期待されそうです。

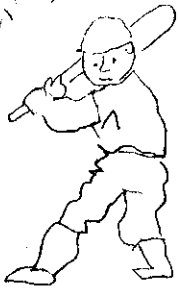
◎ 町内対抗バレーボール大会

八月二十九日三小体育館で八時三十分よ
り開きます。二小体育館でもあります。
今年度は体育館が未だ、どの町内にも
バレー熱が高まり、いつもより出場チ
ームもふえ、和気あいあいの試合が展開さ
れそうです。

町内も体育館落成で練習量
が豊富で実力伯仲のようです。

炎天下、汗と土にまみれての

熱戦に、皆さんのご声援をお願い
します。



プールの活用を

休み中開放

児童は、からだを動かすことが好き
である。ことに夏の水泳は児童にとって
魅力そのものである。

水泳はからだに適した運動であるとい
われているが、これは精神を充実させることと同時に

次のような体力をつけるからです。
1. 水中における警戒動作、バランス、タイミングなど
を通して、調整力をたかめ、脳、神経系統の発達をう
ながす。

2. 全身運動であるので、すべての筋肉の発達とうなが
す。

3. 運動量が多く、循環器や呼吸器を刺激して、全身の
持入力の発達に役立つ。

4. 皮ふの鍛練によって抵抗力をつける。
そのうえ、果しむながらこれらの体力が養えるのだから
実に素晴らしいものです。休み中開放されるプールを大い
に活用していただきたい。
お知らせ

子どもクラブ水泳大会 八月二十二日（日）
三小プール 申し込み受けつけ 八月九日まで



あいさつは 心と心のさすびあい

生活部

生活部は「校外における生活指導に努める」ことを目標にして、次のことを努力事項にあげています。

- 1. あらゆる事故を未然に防ぐ
- 2. 町内の代議員をはじめ父兄全員が子どもたちに声をかける

3. 各町内集會場に生活指導の標語を掲げる

4. 長期休業の場合に生活指導全般の会合を設けて指導の徹底をはかる

このため一学期は巡回映画と標語の募集とその一部掲示をいたしました。紙面の関係で校外生活指導の優秀作品を紹介いたします。夏休み中に習慣化するまで、「指導をお願いします」

・「おはよう」「おはよう」声かけ合って集団登校

三年 相馬孝一
四年 大塩輝子

・朝のあいさつに「ニリと」

・あいさつは 心と心のさすびあい 四年 松本明子

・早朝早おき ほくらの健康 四年 林田耕作

・母さんに なんでも話そう その日のできごと 四年 出田佳子

・あいさつは 心をこめてだれにでも五年 上田みゆ

・ちりーつ 拾う心が美しい 五年 内島朋子

・あさのあいさつ さわやかに 六年 沓陽桂太

・あいさつを 毎日元気に 気持ちよく 六年 中村健志

・あいさつは にっこりわらって元気よく 六年 上田理如

・あいさつを 大きな声ではっきりと六年 本村美和

・はっきり返事「はい」「いいえ」 六年 中村仁美

・すなおに言おう「ごめんなさい」の一言を、

・坂事は「はい」と元気よく 六年 中島田美

・「はい」その一言をわすれずに 六年 吉田竜郎

・おつかいを、いやだと言わずにさあ行こう 六年 安井奈美子

・夏が来た あぶない海では泳ぐまい 六年 下田ゆかり

・おたがいに「きまりを守ろう」よい子たち 六年 石本幸紀

・なぜまもらない みんなできめた約束を 六年 佐藤 久

・「とびだすな」心にちかかって はいおうだん 六年 大徐寛子

・ 六年 熊本哲也

(文責 荒木)

育友会研修旅行に参加して

坂下 広田幸子

今回の研修旅行は、長崎市の中心地にあります。新興善小学校でした。この学校は、創立百二年の古い伝統ある学校です。

最近 テレビ 新聞で見聞するように、長崎市郊外の学校は教室不足で困っているのに、この学校は、鉄筋三階建築の立派な校舎でありますが、使用してない教室が目につきました。都市人口のドーナツ化現象で千人を二寸児童数で三小とかわりなかつたのに、現在学年三学級で児童数四百七十一名でした。

新興善小学校育友会（育友会）は、父兄と先生のつながりがよく、例えば、学年別で各都を愛持ち、育友会全員が役員となり、部長を中心によく話し合って運営されており、よくまとまっているものと感心しました。また、三月末、次年度役員（会長、副会長）は、前年度の終りに選出され、新年度に入ってから活動に、支障を来さない様配慮されていることが参考になりました。

このような配慮は、会員が少ないから出来ているのかもしれせん。しかし、少し考えさせられるのは、先生と父兄が、どのようにつながり、子ども達

にどのように理解されているのかということですが、学校中心、否、学問中心の育成会が行なわれているように感じました。

これまで、私は、三回の研修旅行に参加しましたが、地域によって事情が異なるが、決してせんが三小育友会のように、学級育友会と地区育友会をうまく一つにつなぎ合せ、先生と親と子ども達の健全な育成をはかる事を目的に、三者三様に立場を考えて協力している育友会活動はほんとうにすばらしいものだと思えました。

編集後記

いよいよ、夏休みにはいりました。子どもたちは解放感に満ち溢れ、元気に遊び、気楽に気持ちで机に向い、マイペースで毎日を送ります。ことと思えます。生活のすべてが

家庭主体におきます。そのために、特集号としてカリブリで出して見ました。事故のない夏休みを願って

